



防災の日を機会に家の中の危険をチェック！できる対策はお早めに

9月1日は「防災の日」です。この日を機会に、ぜひ家の中の危険のチェックと解消を行っておきましょう。家具の転倒防止や収納物の飛び出し防止など、すぐにできる地震対策をご紹介します。

まずは「転倒」「落下」「飛び出し」などの危険をチェック！

地震が起きたとき、ケガの原因になりやすいのが「転倒する家具」「落下してくる物」「戸棚の中から飛び出してくる物」です。

さらに窓ガラスが飛び散って大ケガをすることもあります。これらを防止するために、以下の対策を行っておきましょう。

- ・たんす、食器棚、冷蔵庫などの転倒防止（つっぱり棒や固定金具など）
- ・両開きの戸棚には、扉ロックやドアストッパーを付ける
- ・テレビや花瓶などの重い物は、低い場所に移動する
- ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る



部屋の安全性を高めよう

たんすや食器棚の中身は重たい物を下に、軽い物を上に移動して、転倒しにくいようにしましょう。さらに火事の火元になりやすいキッチンには、発火しやすい物を火元からなるべく離しておきましょう。

また、寝室では無防備に長時間眠るため、地震や災害が起きた際にケガをしやすい場所です。家具や重い物はなるべく眠る場所から離しておきましょう。

避難経路の確認と安全確保も忘れずに！

地震や災害で家が大きなダメージを受けた場合は、外に避難する必要があります。

そのとき邪魔になりやすいのが、玄関や勝手口、ベランダなどに置いてある家具や物です。これらが転倒したりしないか、置き方や安全性をチェックしましょう。特に大きな鏡、ガラス製の水槽、両開きの靴箱などは危険です。これらもドアストッパーや飛散防止フィルムなどで対策したり、置き場所を変えたりしておきましょう。

いざ災害が起きたときのための打ち合わせも大事！

家族で災害を乗り切るためには、災害時の行動方法や連絡手段を話し合っておくことも大事です。

お使いの電話会社の災害用伝言板の使い方や、自治体の避難場所、そこに避難するまでのルートを確認・共有しておきましょう。

自治体の避難場所は、市区町村ごとに配布またはWebで公開されているハザードマップで確認できます。

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

☎0564-62-7700

